

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

頭頸部 IMRT における治療期間中の体輪郭変化が放射線治療の処方線量へ及ぼす影響

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年10月14日から2027年3月31日までに昭和大学病院放射線治療科において放射線治療のために受診している患者診療録の中から、頭頸部領域に対し強度変調放射線治療を施行した患者さん

## 2. 研究目的・方法

頭頸部領域における強度変調放射線治療(IMRT)は、標的臓器と正常臓器が混在する複雑な頭頸部領域の放射線治療を可能にし、その治療効果は手術と同等ともいわれています。しかし、治療期間中の化学療法などによる体重の増減により治療計画時と比較して体輪郭が変化すると報告もされており、治療期間が約2か月にも及ぶ頭頸部 IMRT においては、体輪郭変化による治療期間中の線量変化の影響が懸念されます。本研究では、放射線治療期間中の体輪郭変化が及ぼす影響について、治療期間における体輪郭の変化量と各臓器への処方線量の変化量について関連性を調べ、治療再計画の必要性とその時期に関する予測を行うことを目的とします。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年9月30日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報は、患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴)、癌併用療法に関する情報(投与薬物、用法・用量、投与期間、その他治療に関わる補助療法)、本研究の解析に必要な情報(対象照射部位、線量分布、処方線量、治療計画 CT 画像及びその撮影日、IMRT 施行直前の MVCT 画像及びその撮影日)を利用します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

**6 . 研究組織**

研究責任者	昭和大学病院放射線技術部	藤井 智希
研究分担者	昭和大学大学院保健医療学研究科	渡邊 裕之
研究分担者	昭和大学病院放射線技術部	尾崎 道雄
研究分担者	昭和大学大学院保健医療学研究科	宮浦 和徳
研究分担者	昭和大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門	伊藤 芳紀

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部 氏名：藤井 智希（研究責任者）

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8582